

荒川新聞

任長	任部	掃合部
委員	宣伝	清組支
行集	京働川	
発執編教	東労荒	

2009年05月15日
創刊号

第80回メーデー

闘うメーデーへ

大同団結と統一開催を

米国発の金融危機が世界を覆い、その大波が日本の経済にも襲いか

かり、業績悪化を理由に、非正規労働者の雇い止めを強行し、「派遣・



力強くシュプレヒコールをする荒川支部の西谷修一さん

期間工」の労働者が大量に解雇され、大きな社会問題となっています。さらに、正社員の賃金カット、人員削減など、経済危機による雇用破壊が深刻化しています。一方、国の意向や指導を背景に、地方自治体は

労働者の団結で貫徹!

今回メーデーに参加するにあたり、第二地連として事前学習会を行いました。「意義・目的」を学習の中から学び、当日を迎えた。

私は、今年から地連の常任として支部から参加した。宣伝カーに飾り付けをし、全地連様々な工夫を催し区民にアピールする体制を整えた。集会では、1万2000人の労働者が結集し、

創刊号

「規制緩和・構造改革路線」を強行に押し進め、公務・公共サービスなどの民営化によって、公共政策の崩壊が進み、地方自治や地域社会は危機に瀕しています。第80回メーデーは、こうした社会状況の下、開

平日にも関わらず、多くの労働者が参加した。集會の中心となったのは「日本経済が深刻な状況に落ち込んでいる現状」「リストラ・派遣労働者切りが横行している実

魂のシュプレヒコール

5月1日(金)、第80回日比谷メーデーが日比谷野外音楽堂で開催された。荒川支部は8名の参加をしました。私自身は久しぶりのメ

催されましたが、残念ながら昨年同様分裂メーデーとなってしまいました。全労働者が大同団結し、闘うメーデーと位置付け、労働者の祭典として統一して開催されてこそ意義のあるものです。

我が東京清掃は闘うメーデーの歴史と伝統を守り、これまでの経緯を踏まえ、連合メーデー(4月29日)と日比谷メーデー(5月1日)を全力で取り組みました。

【恵良伸介】

態」の中で、今後日本の展望を私たちが変えていかなければならないことを実感した。労働者の団結こそが世界を切り開く第一歩になる近道だと痛感した。【東海林一久】

ーデーに参加し、今年の厳しい経済状況による悲壮感漂う話を聞き、メーデーとは全世界の労働者が生活と権利をかけて闘う「統一行動日」であることを認識しました。

集会終了後、デモ行進を行い、10年振りに私がシュプレヒコールを担当

天運?

春を通りこして、夏日が続いています。▼もう夏服に替えた人も多いですね(笑)。▼気候的な温度は高いんですが、世の中は冷えた話題ばかりです。▼100年に一度の大不況に、新型インフルエンザが世界中に蔓延、私たちの夏のボーナスが凍結。冷えるというより、寒々しいニュースばかり。▼そろそろ底が見えたかなと思ってるんですが、日銀総裁も同じことを少し前に言っていたような(汗)。▼支部の新聞としては、10年振りの発行です。▼明るい話題を載せて、今後も発行してくぅぅ↓

しました。心地良い緊張のなか、マイクを持つ手は汗で濡れほどでした。通り行く人々のあいだを、声高にシュプレヒコールするデモ行進は私達労働者の熱意が銀座の街中に響き渡り心地良くもありました。

【西谷修一】